

1. 授業の概要(ねらい)

図書館における情報資源組織化の理論と基本的な技術を学ぶ

2. 授業の到達目標

- ・図書館における情報資源組織化の意義とその手法を説明できる
- ・目録法の意義、基本機能と応用原理を説明できる
- ・主題組織法の意義、基本機能と応用原理を説明できる

3. 成績評価の方法および基準

1分ペーパーと演習課題を含む授業参加(40%) ; 試験(60%)

*ただし、欠席4回以内、すべての演習課題の期限内提出を試験の受験条件とします

*また、試験における合格点を単位取得条件とします

4. 教科書・参考文献

参考文献

田窪直規編著. 飯野勝則, 小林康隆, 原田智子, 山崎久道, 渡邊隆弘著. 情報資源組織論. 三訂, 樹村房, 2020, (現代図書館情報学シリーズ, 9), ISBN 978-4-88367-339-1.

日本図書館協会目録委員会編. 日本目録規則. 2018年版, 日本図書館協会, 2018, ISBN 978-4-8204-1814-6.

日本図書館協会目録委員会編. 【指定】日本目録規則. 1987年版改訂3版, 日本図書館協会, 2006, ISBN 978-4-8204-0602-0.

もりきよし原編. 日本図書館協会分類委員会編. 【指定】日本十進分類法. 新訂10版, 日本図書館協会, 2014, ISBN 978-4-8204-1413-1.

日本図書館協会件名標目委員会編. 【指定】基本件名標目表. 第4版, 日本図書館協会, 1999, ISBN978-4-8204-9912-1.

5. 準備学修の内容

- ・図書館OPACや出版社サイトでの情報資源の検索、書誌データの観察と組織化原理の確認
- ・図書館や書店における排架方法の観察と組織化原理の確認
- ・授業後に授業中のメモをもとに「自分の」ノートを作成しておく
- ・演習課題の提出と復習

6. その他履修上の注意事項

- ・第1回は授業の進め方、成績評価の方法などの重要な説明があるので必ず受講すること
- ・ほぼ毎回、「学んだこと、考えたこと、残された疑問」を書く1分ペーパーを課します
- ・また、演習課題も課します

7. 授業内容

- 【第1回】 【春学期はオンライン】オリエンテーション
- 【第2回】 情報資源組織の目的と意義
- 【第3回】 目録法(1)目録法の意義と手法
- 【第4回】 目録法(2)目録規則の歴史と世界標準
- 【第5回】 目録法(3)日本目録規則
- 【第6回】 主題組織法(1)主題組織法の意義と手法
- 【第7回】 分類法(1)分類の基本原理
- 【第8回】 分類法(2)日本十進分類法
- 【第9回】 語による主題組織法(1)自然語による主題組織法
- 【第10回】 語による主題組織法(2)統制語による主題組織法
- 【第11回】 書誌コントロール
- 【第12回】 【オンライン】復習演習
- 【第13回】 書誌データとメタデータ(1)
- 【第14回】 書誌データとメタデータ(2)
- 【第15回】 授業内試験